

授業科目 保健医療福祉連携学Ⅰ（医療現場）

【担当教員名】 金谷 光子、渡邊 榮吉 吉岡 豊、渡辺 時生 他	対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要・一般目標：GI0】
医療の高度化に伴い、医療現場では他職種との連携なしには勤められない状況にあるといえる。本講義では医療現場において行われる様々な連携のあり方について、他職種の専門性をふまえながらその実態と必要性について理解する。
(1) 医療現場における各専門職の役割について知る
(2) 医療現場における連携の必要性を理解する
(3) 医療現場で行われている連携の実際を知る。

【学習目標・行動目標：SBO】
1. 医療における各専門職の役割について列挙する
2. 医療現場における連携の必要性について説明する。
3. 医療現場における多職種の連携の実際について述べる。
4. 事例を通して、それぞれが学んでいる専門分野の立場から意見を述べる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	医療現場における各専門職の持つ役割は何か	1	渡邊榮吉
2	医療現場における各専門職の連携の必要性とそれを阻むもの	2	金谷光子
3	各専門職の連携のあり方を考える：脳血管障害：急性期（麻痺：身体）	3・4	医師・看護・理学・言語
4	医療現場における各専門職の連携のあり方：脳血管障害（嚥下）	3・4	医師・言語・心理・健康栄養・看護・
5	医療現場における各専門職の連携のあり方について：脳血管障害：慢性期	3・4	理学・作業・福祉・義装・心理・作業
6	医療現場における各専門職の連携のあり方について：糖尿病	3・4	医師・健栄・健ス・看護・
7	それぞれが学んでいる専門的立場から、連携の必要性について考える：ディベート	3・4	渡邊・吉岡・金谷・渡辺（時）
8	それぞれが学んでいる専門的立場から、連携の必要性について考える：ディベート	3・4	渡邊・吉岡・金谷・渡辺（時）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	なし			
その他の資料	その都度提示 その都度、資料を提示する予定			

【評価方法】 出席は2/3以上を前提、定期試験による評価 1. 出席：30% 2. レポート70%（授業のたびに200字程度）	【履修上の留意点】 授業中の積極的な発言を望む。
--	-----------------------------